

# 2015年度第2四半期決算概要 及び 2015年度業績予想

---

2015/10/30

 **住友重機械工業株式会社**  
社長 別川 俊介

Copyright © Sumitomo Heavy Industries, Ltd. All Right Reserved.

## INDEX

01

## 2015年度第2四半期決算概要

2015年度第2四半期 業績サマリー | セグメント別営業利益 | 連結貸借対照表  
連結キャッシュフロー計算書 | 地域別売上高

02

## 2015年度業績予想

2015年度業績予想 | 機械コンポーネント | 精密機械 | 建設機械 | 産業機械 | 船舶 | 環境・プラント  
2015年度セグメント別業績予想まとめ

03

## 「中期経営計画2016」進捗

「中計16」業績進捗状況 | 2015年度期初予想との差異および「中計16」目標達成に向けて  
外部環境悪化への対応 | 好調事業の成長戦略 | 経営方針

# 01 2015年度第2四半期決算概要

## 01

## 2015年度第2四半期 業績サマリー

単位：億円

## ■ ポイント

## (1) 受注高

- ・機械コンポ、精密、産機セグメントは大幅増なるも、建機、船舶減少のため前年同期比減少。
- ・精密は射出成形機が好調。
- ・船舶受注は前年同期5隻に対し今期2隻。

## (2) 売上高

- ・全セグメント増加。
- ・精密は射出成形機が大幅増。
- ・環境・プラントはボイラが増加。

## (3) 営業利益

- ・機械コンポ、精密、産機、船舶で増加するも建機の減益幅が大きい。

	2014/上	2015/上	増減
受注高	3,655	3,563	△92
売上高	3,063	3,225	162
営業利益	199	184	△16
営業利益率	6.5%	5.7%	△0.8%
経常利益	200	168	△32
経常利益率	6.5%	5.2%	△1.3%
特別損益	△3	△2	1
税金等調整前 当期純利益	197	166	△31
当期純利益	123	115	△8
当期純利益率	4.0%	3.6%	△0.5%

# 01 セグメント別営業利益

単位：億円

## ■ 対前年同期比較

### <機械コンポーネント>

国内および北米、欧州(中小型)は堅調だが世界的な大型減速機の需要減により増加率が低い。

### <精密機械>

射出成形機売上増および利益率改善により増益。

### <建設機械>

中国を中心とした油圧ショベル売上減により減益。

### <産業機械>

産業用クレーン、タービン・ポンプの売上増により増益。

### <船舶>

新造船の引渡しは前年同期同様1隻。操業度が改善し営業利益はゼロベースまで回復。

### <環境・プラント>

ボイラの工期延長等によるコスト増により減益。

	2014/上	2015/上	増減
機械コンポーネント	34	36	1
精密機械	66	94	28
建設機械	74	22	△52
産業機械	19	26	7
船舶	△11	△0	11
環境・プラント	8	△1	△9
その他	10	7	△3
計	199	184	△16

## 01

## 連結貸借対照表

単位：億円

	2015/3末	2015/9末	増減		2015/3末	2015/9末	増減
<b>流動資産</b>	<b>4,920</b>	<b>4,695</b>	<b>△225</b>	<b>負債</b>	<b>4,209</b>	<b>3,897</b>	<b>△312</b>
現預金※	924	597	△327	買掛債務	1,404	1,322	△82
売上債権	1,949	1,872	△77	前受金	447	438	△9
たな卸資産	1,538	1,709	170	有利子負債	836	721	△116
その他	508	517	8	その他	1,521	1,416	△105
<b>固定資産</b>	<b>2,940</b>	<b>2,923</b>	<b>△17</b>	<b>純資産</b>	<b>3,651</b>	<b>3,721</b>	<b>70</b>
有形固定資産	2,283	2,305	22	株主資本	2,937	3,016	79
無形固定資産	93	93	△1	その他の包括利益 累計額	664	660	△3
投資その他の資産	564	526	△38	非支配株主持分	50	45	△6
合計	7,860	7,618	△242	合計	7,860	7,618	△242
				ネット有利子負債比率	△1.1%	1.6%	2.7%
				自己資本比率	45.8%	48.3%	2.5%

※ 現預金には現金同等物を含む

## 01

## 連結キャッシュフロー計算書

## ■ 運転資本の増加により営業CFマイナス

単位：億円

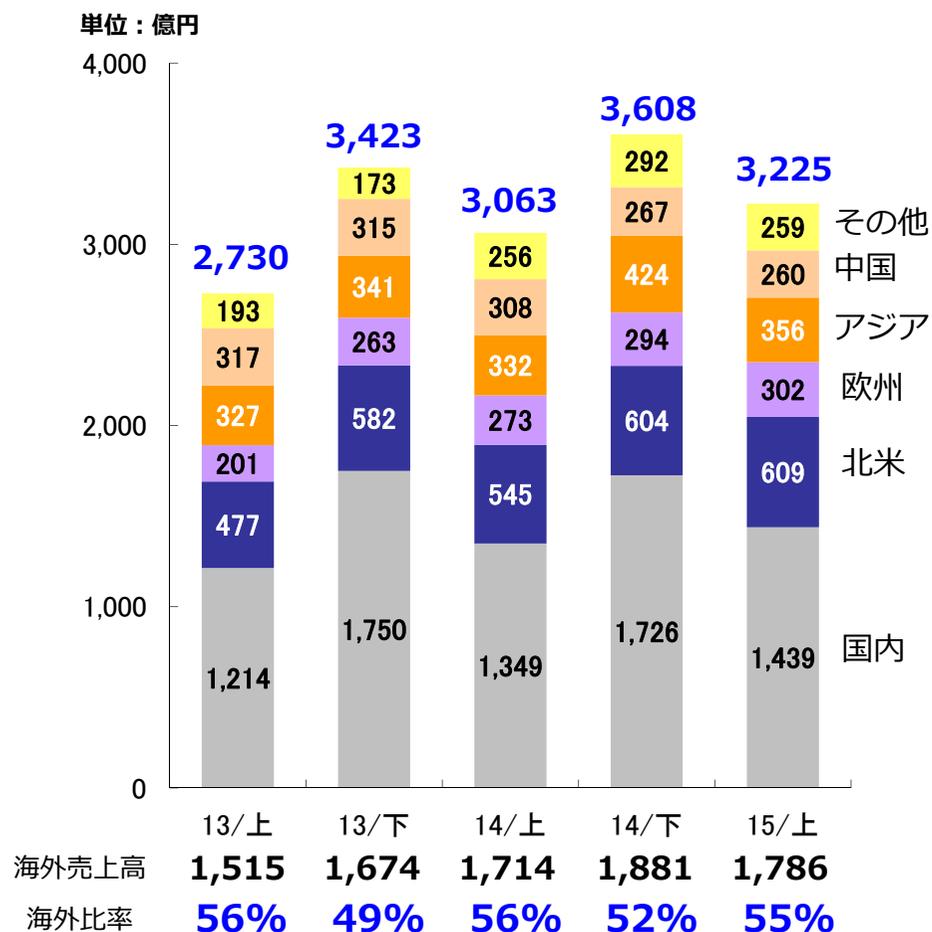
区 分	2014/上	2015/上	増減
<b>営業活動</b>	<b>319</b>	<b>△78</b>	<b>△397</b>
税金等調整前当期純利益	197	166	△31
減価償却費	80	96	15
運転資本	170	△173	△342
その他(税金等)	△128	△167	△39
<b>投資活動</b>	<b>△51</b>	<b>△82</b>	<b>△30</b>
(フリーキャッシュ・フロー)	(268)	(△159)	(△428)
<b>財務活動</b>	<b>△175</b>	<b>△175</b>	<b>△0</b>
<b>現金・現金同等物増減</b>	<b>84</b>	<b>△334</b>	<b>△418</b>
現金・現金同等物期末残高	848	577	△271

# 01

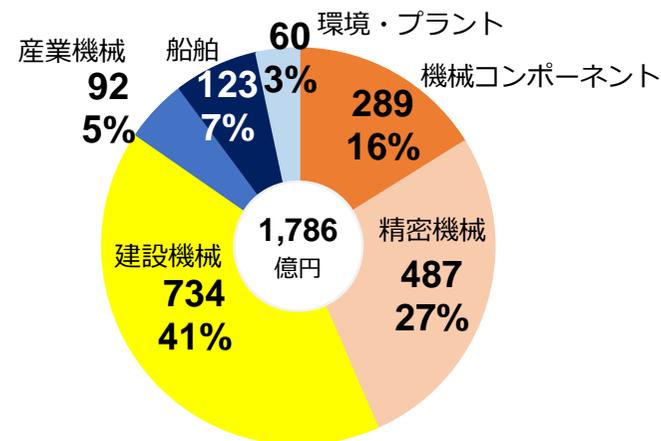
## 地域別売上高

■ 15年度上期は前年同期比国内は順調に増加しているが中国が減少（16%減）

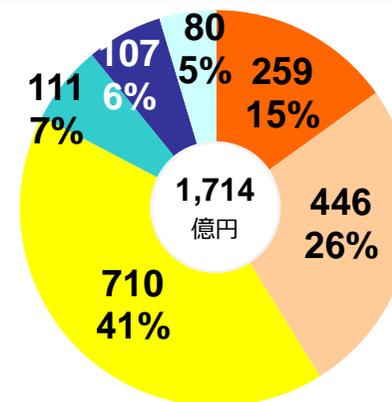
地域別売上高推移



15/上 セグメント別海外売上高



14/上 セグメント別海外売上高



02

2015年度業績予想

## 02 2015年度業績予想

- 2015年度通期は建設機械事業不振のため、営業利益を当初公表より下方修正。
- 配当は当初予想年間14円を据え置き。

	2014上期 実績	2014下期 実績	2015上期 実績	2015下期 予想	2014年度実績	2015年度予想
受注高	3,655	3,753	3,563	3,437	7,408	7,000
売上高	3,063	3,608	3,225	3,675	6,671	6,900
営業利益	199	261	184	276	460	460
営業利益率	6.5%	7.2%	5.7%	7.5%	6.9%	6.7%
経常利益	200	251	168	262	451	430
経常利益率	6.5%	7.0%	5.2%	7.1%	6.8%	6.2%
特別損益	△3	△61	△2	△22	△64	△20
当期純利益	123	121	115	155	243	270
当期利益率	4.0%	3.3%	3.6%	4.2%	3.6%	3.9%
配当	5円	7円	7円	7円	12円	14円
配当性向					30.2%	31.8%
ROIC (税引後)					6.5%	6.4%
織込レート(ドル)	102円 (実績)		117円 (実績)	120円	107円 (実績)	120円

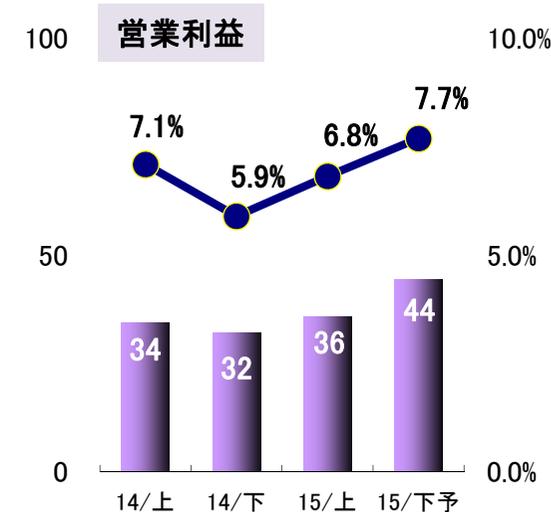
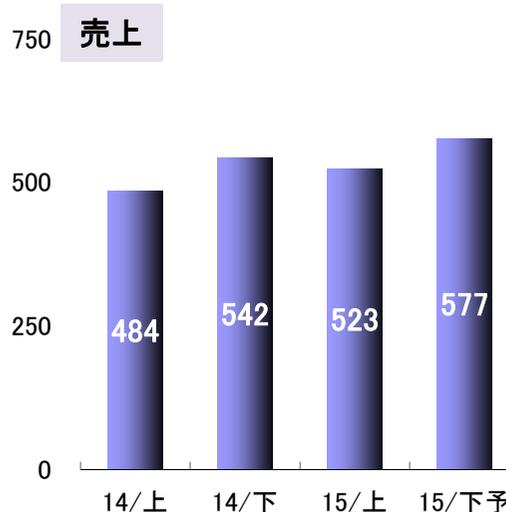
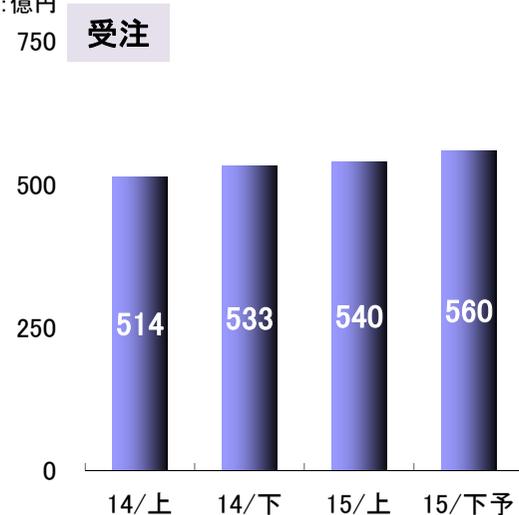
## 02

## 機械コンポーネント

**15上期：** 中国および資源分野向け大型減速機の市況低迷するも、国内や北米・欧州の中小型および精密減速機は堅調に推移し、受注・売上とも前年同期比で増加。

**15下期：** 国内は緩やかな回復基調続く。中国は低迷長期化。

単位:億円



## 02

## 精密機械

## ＜プラスチック機械＞

**15上期：** アジアでのIT関連市況が一巡する中、国内や欧州・北米市況が堅調に推移したことから受注、売上ともに前年同期に比べ増加し、営業利益も大幅増。

**15下期：** アジアでのIT関連需要の減少見込む。

## ＜精密先端機器＞

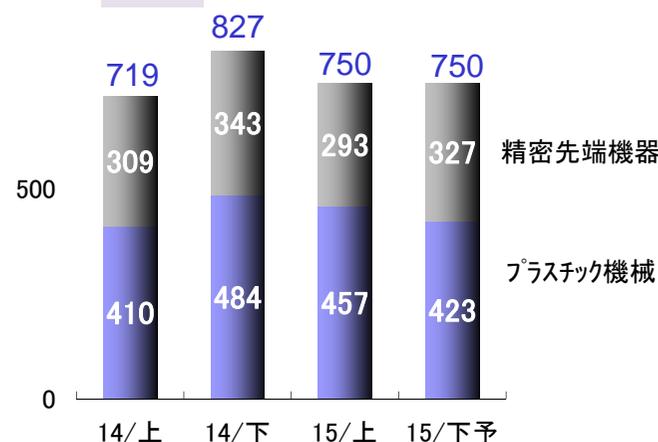
**15上期：** 医療機器用の極低温冷凍機は、中国市場減速などで受注・売上微減。半導体関連機種を受注は、前年同期に比べ減少したものの売上・利益は増加し、堅調に推移。

**15下期：** 医療機器用の極低温冷凍機、半導体関連機種とも堅調なるも大幅増は期待できず。

単位：億円

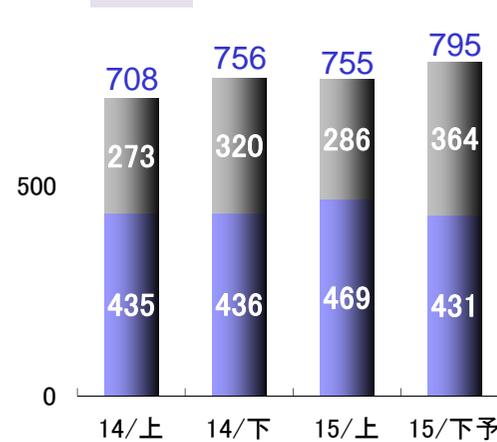
1,000

受注

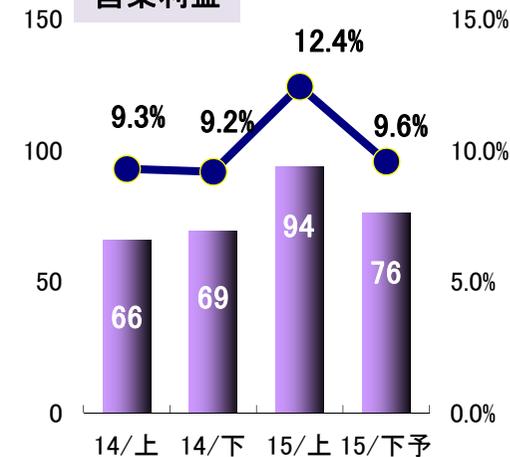


1,000

売上



営業利益



## 02

## 建設機械

## &lt;油圧ショベル&gt;

**15上期：** 中国市場の需要が大幅に減少したことや、国内における前年度の排ガス規制対応の駆け込み需要の反動減などにより、受注、売上ともに前年同期比減少。

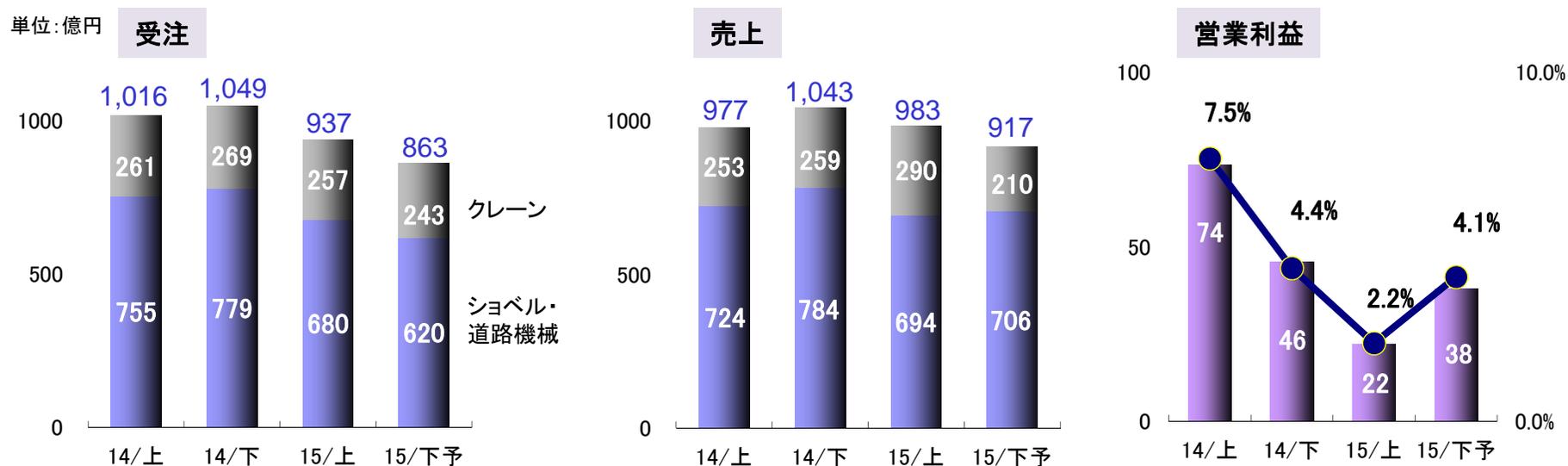
**15下期：** 中国はじめ新興国は今期中の回復が見込めないものの、業績影響が最小限になるよう施策実行。

## &lt;モバイルクレーン&gt;

**15上期：** 北米市場のオイル関連需要の回復が遅れていることから、受注は前年同期に比べ減少したものの、売上は増加。

**15下期：** 北米市場は未だ厳しい。

単位：億円



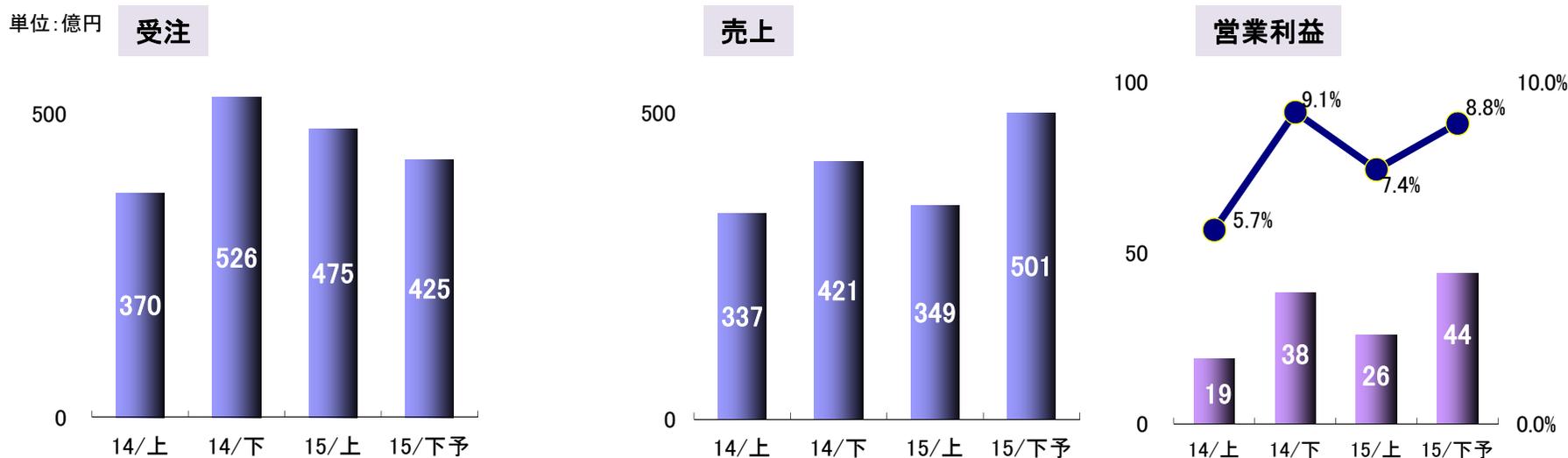
## 02

## 産業機械

**1 5 上期：** 産業用クレーンは国内造船業界向けが、タービンは海外発電関連が好調に推移。産業機器では陽子線がん治療装置を受注するなど、前年同期に比べ受注増加。

売上は、産業用クレーンとタービンが増加したことから前年同期比増加。

**1 5 下期：** タービンは国内、海外市場の発電関連が堅調。産業用クレーンは好調継続の状況下、10月1日より統合会社スタート。



## 02

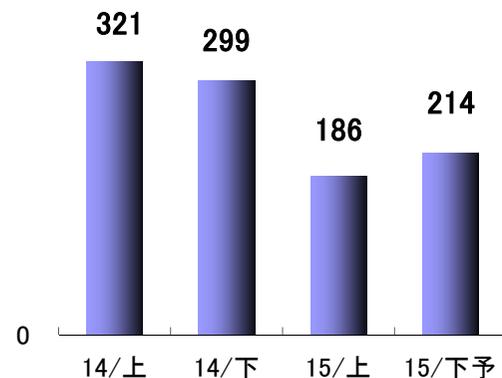
## 船舶

**15上期：** 中型タンカー市況は比較的堅調に推移し、当期2隻受注（前期比3隻減）。引き渡しは1隻と前年同期比同じ。操業度が改善し営業利益はゼロベースまで回復。

**15下期：** 造船市況は依然厳しいが、中型タンカー市況は比較的堅調さを継続する見込み。下期営業利益黒字を目指す。

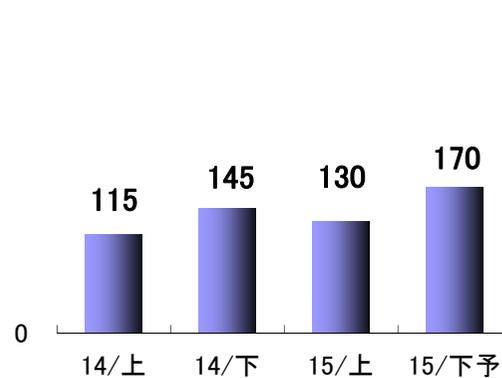
単位: 億円  
500

受注

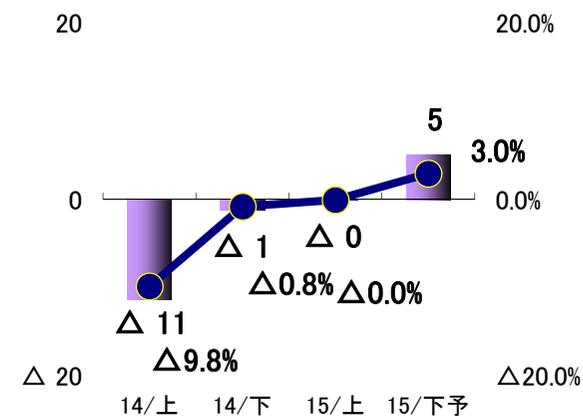


500

売上



営業利益



## 02

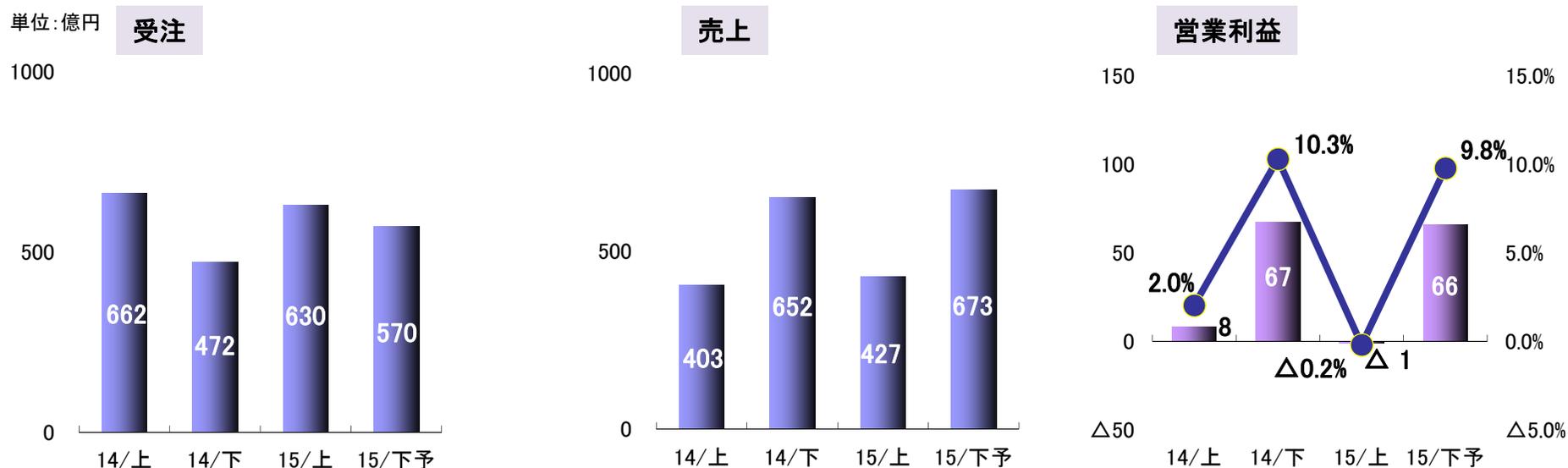
## 環境・プラント

**15上期：** ボイラ事業は、海外 I P P 向けや国内バイオマス発電設備などで受注堅調。水処理プラント事業は、大規模改修工事の受注などから前年同期比増加。

売上は発電用ボイラ案件により増加したものの、工期延長等によるコスト増により減益。

**15下期：** ボイラの市況好調継続。工事進行に伴い売上増加。

単位:億円



## 02

## 2015年度セグメント別業績予想まとめ

単位: 億円

		2014上期 実績	2014下期 実績	2015上期 実績	2015下期 予想	2014年度 実績	2015年度 予想
機械コンポーネント	受注高	514	533	540	560	1,047	1,100
	売上高	484	542	523	577	1,026	1,100
	営業利益	34	32	36	44	66	80
精密機械	受注高	719	827	750	750	1,546	1,500
	売上高	708	756	755	795	1,464	1,550
	営業利益	66	69	94	76	135	170
建設機械	受注高	1,016	1,049	937	863	2,065	1,800
	売上高	977	1,043	983	917	2,020	1,900
	営業利益	74	46	22	38	119	60
産業機械	受注高	370	526	475	425	896	900
	売上高	337	421	349	501	758	850
	営業利益	19	38	26	44	58	70
船舶	受注高	321	299	186	214	619	400
	売上高	115	145	130	170	261	300
	営業利益	△11	△1	△0	5	△12	5
環境・プラント	受注高	662	472	630	570	1,134	1,200
	売上高	403	652	427	673	1,055	1,100
	営業利益	8	67	△1	66	75	65
その他	受注高	54	48	44	56	101	100
	売上高	38	48	57	43	86	100
	営業利益	10	9	7	3	18	10
合計	受注高	3,655	3,753	3,563	3,437	7,408	7,000
	売上高	3,063	3,608	3,225	3,675	6,671	6,900
	営業利益	199	261	184	276	460	460

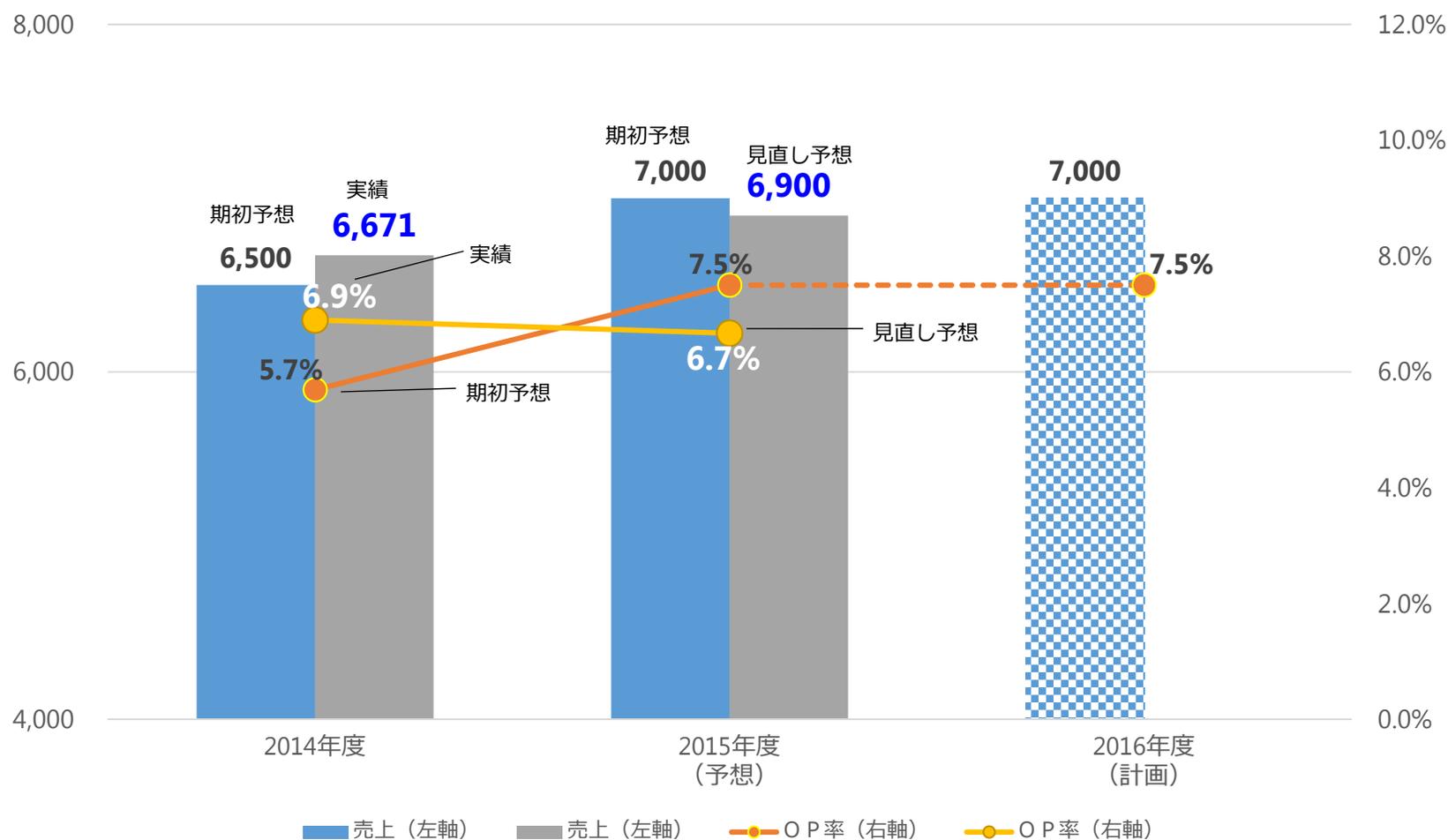
# 03

## 「中期経営計画2016」進捗

## 03

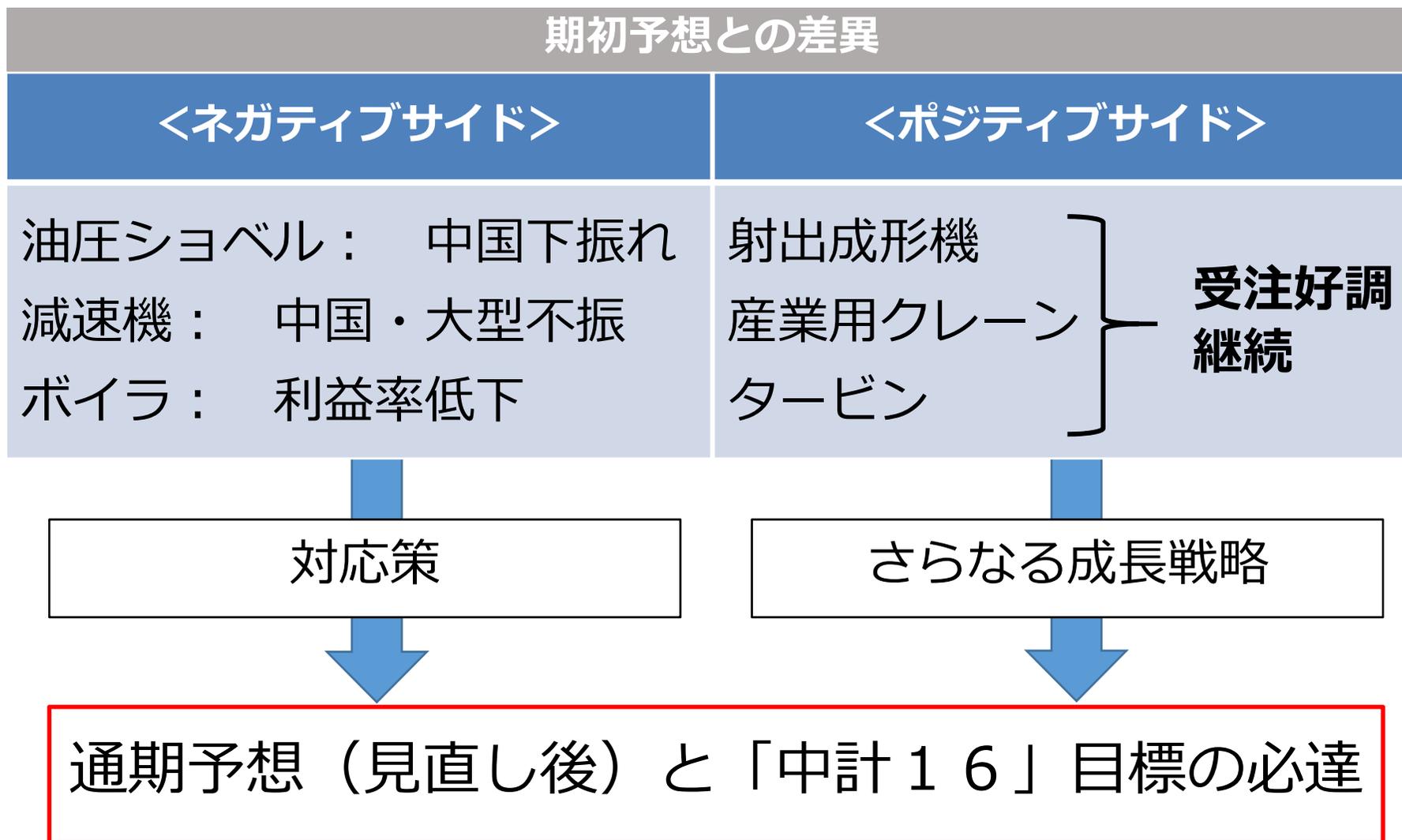
## 「中計16」業績進捗状況

- 15年度は外部環境変化により期初予想を下方修正
- 最終年度目標（売上高7,000億円、営業利益525億円）は必達



## 03

## 2015年度期初予想との差異および「中計16」目標達成に向けて



## 03

## 外部環境悪化への対応（1）－大型減速機

- 日本・アジアにおけるサプライチェーン再編によるコスト競争力強化
- 欧州および米州子会社の再建策の完遂、自立化

日本・アジア						米州
欧州	岡山	貝塚 (セイサ)	唐山	HIT 中国	強化 ポイント	ブラジル
HIT						
南アフリカ子 会社売却含む 再構築策完遂 による黒字化 へ	○		○		唐山集 中生産	製販会社統合、 営業力強化、 財務リストラ 等による黒字 化へ
	○	○	○	○	地産 地消	
	○	○	○		地産 地消	
オペレー ション 方針	国内向拡 大で操業 維持	特殊大型 ギヤ生産 拡大	操業 拡大	唐山と 一体 運営		

## 03 外部環境悪化への対応（2）－油圧ショベル

- サプライチェーン再構築・ロジスティクス最適化によりコスト競争力強化
- 販売強化、CNHiとの協業強化

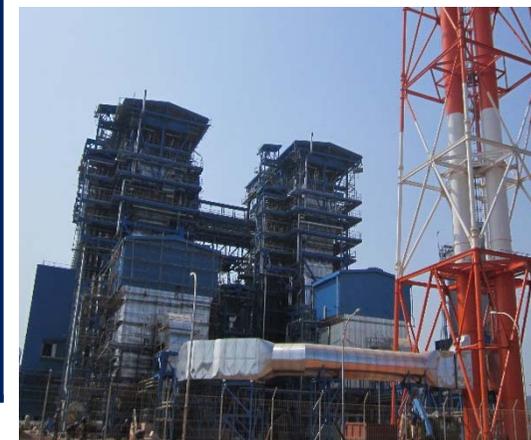


## 03

## 外部環境悪化への対応（3）－ボイラ

## ■プラントエンジニアリング力強化により収益力向上

	これまでに 明確になった課題	今後の対策
設計	設計出図工程の遅れ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フロントローディング徹底で工程管理力強化</li> <li>・設計リソースの増強</li> </ul>
工事	請負業者の繁忙と人手不足	<ul style="list-style-type: none"> <li>・請負業者との関係強化</li> </ul>
工事	工事費用の増加	<ul style="list-style-type: none"> <li>・効率化による工期短縮</li> <li>・工程管理の強化</li> </ul>



## 03

## 好調事業の成長戦略（1）－射出成形機

## ■ 小型機に続き中型機もフルモデルチェンジ

- ダウンサイジングでより大きい金型の搭載が可能
- ZERO molding コンセプトの継承で成形品の生産性向上に寄与

小型機モデル  
チェンジ



2011年10月上市

SE-EV シリーズ  
【型締力】 100t, 130,180t

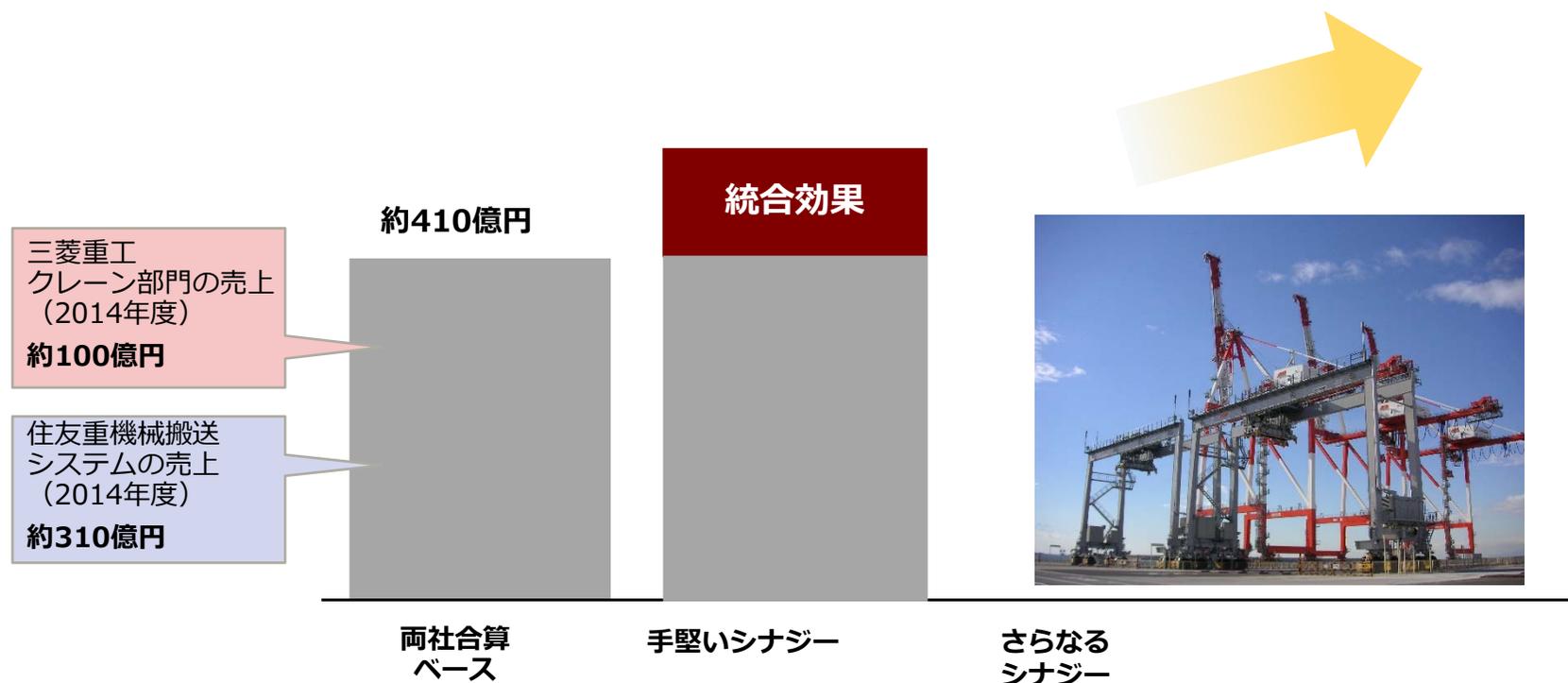


2015年8月上市

SEEV-A-HD シリーズ  
【型締力】 220t, 250t, 280t, 315t, 385t,  
450t, 500t

# 03 好調事業の成長戦略（2）－産業用クレーン

## ■ 統合会社におけるシナジーの追及



- ・ 鉄鋼・電力・造船セグメントにおける事業強化・収益最大化
- ・ 港湾セグメントの受注強化
- ・ サービスメニュー拡充と部品販売強化

- ・ 両社の技術資産を生かした製品開発
- ・ 海外市場での得意分野攻略

## 03

## 好調事業の成長戦略（3）－タービン

## ■ 東南アジア発電市場における トップポジションの確立



	東南アジア		
	製糖市場	自家発電市場	売電主体市場
戦略	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ロイヤルカスタマーの維持・拡大</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ EPC顧客の掘り起こしとターゲット絞り込み、関係性強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ エネ環/ボイラとの協業による拡販</li> </ul>
重点施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 現地直販・直サービス体制強化（タイおよび周辺国）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 現地プロモーションによる販売促進強化</li> <li>■ コスト競争力強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ タービン標準化</li> <li>■ 長翼機適用範囲拡大</li> <li>■ 再熱タービンによる高効率化</li> </ul>

## 2015年度下期

- **堅実な経営を継続する～品質第一の経営の実践**
- **2015年度は**  
**売上高6,900億円、営業利益460億円を**  
**目標とし、受注確保に注力する**
- **「中期経営計画2016」最終年度目標必達のため**  
**の施策を確実に実行する**

将来の業績に関する予想、見通しなどは、現在入手可能な情報に基づき当社が合理的と判断したものです。したがって実際の業績は様々な要因の変化により、記載の予想、見通しとは異なる場合があります。